

2026年2月27日

京都産業大学 広報部

日本天文学会 2026 年春季年会を開催 天文学の主要分野が集う 4 日間

2026年3月4日(水)から7日(土)の4日間、京都産業大学において、日本天文学会2026年春季年会が開催されます。本学で日本天文学会の年会が開催されるのは今回が初めてであり、国内最大規模の天文学研究集会として全国から約800名の研究者が集い、最先端の研究成果が一堂に会する貴重な機会となります。本学の創設者である荒木俊馬博士が同学会の名誉会員であったことも、本年会の開催にあたり大変意義深いものとなっております。

また、3月8日(日)には、一般向け公開講演会「重力と天文学」を開催します。中学生以上を対象とした本講演会では、天文学を支える重要なテーマである“重力”を手がかりに、最前線の研究成果と宇宙の奥深さをわかりやすく紹介します。

【本件のポイント】

- ・春季年会では、太陽・恒星・星形成・銀河・宇宙論・観測装置・天文教育など幅広い分野の通常セッションや企画セッション、さらには中高生が集うジュニアセッションが並行して実施され、学術的交流と次世代育成の双方が進む多層的な研究発表の場が形成されます。

日本天文学会 2026 春季年会

- ・開催日時 2026年3月4日(水)～3月7日(土)
午前の部 9:30～11:40
午後の部 13:00～15:10
- ・受付 1日目 11:00 開始 2-4 日目 9:00 開始
- ・場所 京都産業大学 真理館・天地館(京都市北区上賀茂本山)
- ・内容 12 分野にわたる通常セッションに加えて、企画セッションやジュニアセッションが同時並行で進行するプログラムです。詳細はリリース2枚目に記載しておりますので、ご参照ください。

日本天文学会 公開講演会

- ・開催日時 2026年3月8日(日) 13:30～16:00
- ・場所 京都産業大学附属中学校・高等学校 むすびわざ館ホール
(京都市下京区中堂寺命婦町 1-10)
- ・内容 XRISM 衛星がもたらす最新の宇宙像から超大質量ブラックホール、惑星形成の最前線まで、重力が支配する多様な天体現象を第一線の研究者がわかりやすく紹介します。詳細はリリース枚目に記載しておりますので、ご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先

取材について: 京都産業大学 広報部

TEL:075-705-1411

日本天文学会 2026年 春季年会プログラム

期 日 2026年3月4日(水)～3月7日(土)
 場 所 京都産業大学/オンライン
 電 話 090-4387-6893(学会事務局) <使用期間 2026年3月3日(火)～3月7日(土)>
 E-Mail nenkai-committee@asj.or.jp(年会実行委員会)

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
3月3日(火)							記者会見						
3月4日(水)	A	受付					Z3. 全天偏光マップ	ポスター 15:10 ↓ 16:10		天文教育 フォーラム 16:30-18:00			
	B						V2. 観測機器(光赤・重)						
	C						T. 銀河団						
	D						Z2. ペバトロン						
	E						Y. 教育・広報・他						
	F						M. 太陽						
	G						V3. 観測機器(X線・γ線)						
	H						X. 銀河形成・進化						
	I						W. コンパクト天体						
	J						P2. 原始惑星系円盤						
3月5日(木)	A	受付	U. 宇宙論	昼 休 み 11:40-13:00 (代議員総会)			U. 宇宙論	ポスター 15:10 ↓ 16:10	会員 全体集会 16:30-18:00	受賞 記念講演 18:00-19:30			
	B						V2. 観測機器(光赤・重)						
	C						Q. 星間現象						
	D						Z2. ペバトロン						
	E						Y. 教育・広報・他						
	F						M. 太陽						
	G						V3. 観測機器(X線・γ線)						
	H						X. 銀河形成・進化						
	I						W. コンパクト天体						
	J						P2. 原始惑星系円盤/P1. 星形成						
3月6日(金)	A	受付	R. 銀河	昼 休 み 11:40-13:00			R. 銀河	ポスター 15:10 ↓ 16:10		懇親会 18:00-20:00			
	B						V2. 観測機器(光赤・重)						
	C						Q. 星間現象						
	D						Z1. 天文学史						
	E						N. 恒星・恒星進化						
	F						V1. 観測機器(電波)						
	G						S. 活動銀河核						
	H						X. 銀河形成・進化						
	I						W. コンパクト天体						
	J						P1. 星形成						
3月7日(土)	E	受付	N. 恒星・恒星進化	昼 休 み 11:40-13:00			特別セッション 13:00-15:00						
	F												V1. 観測機器(電波)
	G												S. 活動銀河核
	H												X. 銀河形成・進化
	I												ジュニアセッション (詳細は https://www.asj.or.jp/session/ にて)
J	P3. 惑星系												
3月8日(日)							公開講演会						

現地の受付とセッションの時間は下記の通りです。

- 【受付】 1日目 11:00開始 2-4日目 9:00開始
 【セッション】 午前の部 9:30-11:40 午後の部 13:00-15:10

A 会場：真理館 3F SR311 教室	F 会場：天地館 4F T402 教室	受付：天地館 2F ラウンジ
B 会場：真理館 3F SR312 教室	G 会場：天地館 3F T303 教室	展示コーナー：天地館 3F ラウンジ
C 会場：真理館 2F SR204 教室	H 会場：天地館 3F T304 教室	ポスター：神山ホール 3F 第1&第2セミナー室
D 会場：真理館 2F SR210 教室	I 会場：天地館 2F T204 教室	
E 会場：天地館 4F T401 教室	J 会場：天地館 2F T205 教室	

日本天文学会 公開講演会

重力と天文学

マルチスケールで暗躍する宇宙の力

2026年3月8日(日) 13:30 ~ 16:00 開場 13:00

京都産業大学 むすびわざ館 ホール

中学生以上・一般向け

参加費 無料

定員 400名 申込不要

主催 公益社団法人 日本天文学会

共催 京都産業大学

宇宙の様々な天体を支配する重力。

正負の電荷が打ち消し合う電磁気力とは違って斥力がないため、天体という大きなスケールではその構造や一生を決める役割を果たします。

この重力が織りなす美しい天体の姿と、そこに秘められた謎を、宇宙・銀河・恒星のマルチスケールで探検してみませんか？

日本主導の新しいX線天文衛星の成果を交えつつ、日本天文学会員の第一線の研究者たちのご案内します。

講演1 「XRISMが切り拓く躍動する宇宙像」

講師 佐藤 浩介 (京都産業大学・教授)

2023年に打ち上げたX線撮像分光衛星XRISM(クリズム)は、銀河の大集団である銀河団やブラックホールなど、高エネルギー天体でのダイナミックなガスの運動の様子を次々に明らかにしています。XRISM衛星や検出器の紹介とともにXRISMがもたらした新しい宇宙像を紹介します。

講演2 「XRISMで解き明かす超大質量ブラックホールの謎」

講師 上田 佳宏 (京都大学・教授)

ほぼ全ての銀河の中心には超大質量ブラックホールが存在し、それらが母銀河と密接に影響し合い、共に進化してきたことがわかっています。X線観測は、成長しつつあるブラックホール(活動銀河核)の構造を調べるのに最も有効な手段の一つです。本講演では、活動銀河核についてのXRISMの最新成果を紹介します。

講演3 「惑星の重力が明らかにする惑星形成の現場」

講師 野村 英子 (国立天文台・教授)

惑星は、原始惑星系円盤とよばれる、若い星のまわりの円盤状の天体の中で誕生します。最近のALMAなどの大型望遠鏡により、生まれたての惑星の重力によりできたと考えられる円盤内の構造が観測できるようになりました。本講演では、誕生したばかりの惑星系の様子と、そこに存在する物質に関する理論的・観測的研究のフロンティアを紹介します。

会場 京都産業大学 むすびわざ館 ホール



京都市下京区中堂寺命婦町1-10

JR「丹波口」駅 徒歩7分/阪急「大宮」駅 徒歩11分/京福「四条大宮」駅 徒歩11分/市バス「大宮松原」または「五条壬生川」徒歩5分

むすびわざ館には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



ホームページ・会場へのリンクはこちら

お問い合わせは asj-public-talk@cc.kyoto-su.ac.jp まで

本講演会はJSPS科研費25HP0005の助成を受けたものです。